

埼玉県のマスコット コバトン

埼玉県 獣医師会 報

第 616 号

平成27年 2 月20日編集

発 行 所
公益社団法人 埼玉県獣医師会
〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-340
(埼玉県農業共済会館内)
電 話 048(645)1906
FAX 048(648)1865
E-mail : s-vma@vesta.ocn.ne.jp
URL : <http://www.saitama-vma.org/>
振替口座 00110-9-195954番
発行責任者 高 橋 三 男
編集責任者 三 森 信 行
印 刷 所 (株)アサヒコミュニケーションズ

記 事 の 内 容

平成26年度日本獣医師会獣医学術学会

- 年次大会(岡山)開催される…………… 1
豚の飼養者等への豚流行性下痢に関する
指導の再徹底について…………… 5

予告

- さいたま市支部後援臨床サポートセミナー
の開催…………… 6

ひろば

- 新入会員の抱負…………… 7
(公社)埼玉県獣医師会主催ボウリング
大会の開催…………… 8
さいたま市支部学術講習会開催報告……………10
平成26年度東支部新年会開催報告……………10

訃報

- 故 中村庫一郎先生のご逝去を悼んで……………11

切り抜きニュース

- 県北部で PED プタ 6 が頭が陽性 ……………13
○犬猫殺処分ゼロ議連発足
ーチップ装着、生体販売制限、自治体の
拒否拡大検討ー……………13
○博士とずっと一緒
ー駅へお迎え 飛びつくハチ、来月 8 日
新銅像除幕ー……………14

埼玉県獣医師会学術広報版 ……………16

事務局より

- 事務局メモ……………17

編集後記 ……………18

公益社団法人 埼玉県獣医師会 会員憲章

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は、それぞれの職域において、その責務を遂行し、県民の福祉増進に寄与するため、ここに会員憲章を定めます。

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は

1. 動物の生命を守り、ひとびとの生活を豊かにしよう

1. 獣医学術を研鑽向上し、確信を持って業務に邁進しよう

1. 動物愛護思想を向上し、心豊かな生活をしよう

1. 環境衛生を向上し、福祉増進の実をあげよう

1. 職域を尊重し、倫理の昂揚をはかろう

平成26年度日本獣医師会獣医学術学会 年次大会(岡山)開催される

平成27年2月13日(金)から15日(日)までの3日間、日本獣医師会が主催する平成26年度獣医学術学会年次大会(岡山)が、岡山県獣医師会の共催と日本獣医学会の企画協力により岡山市の「岡山コンベンションセンター」や「岡山国際交流センター」など岡山駅周辺の施設を会場に、全国から会員等1,600名が参加して開催されました。

この大会では、獣医学術学会として日本産業動物獣医学会、日本小動物獣医学会、日本獣医公衆衛生学会の三学会が開催され、全国9ブロックで地区学会長賞を受賞した演題の講演をはじめ、優れた研究の発表や最新の情報を題材にしたシンポジウムなどが企画されました。



会場となった「岡山コンベンションセンター」



1 地区学会長賞受賞講演

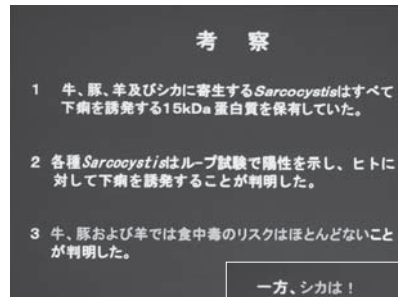
大会1日目の13日(金)は、午後1時から、獣医学術地区学会で地区学会長賞を受賞した研究演題が発表されました。各学会での発表演題数などは次のとおりです。

- (1) 日本産業動物獣医学会
発表演題数 21題(うち関東・東京合同地区 2題)
学会長 中尾敏彦 元山口大学農学部教授
- (2) 日本小動物獣医学会
発表演題数 22題(同 2題)
学会長 佐藤れえ子 岩手大学農学部教授
- (3) 日本獣医公衆衛生学会
発表演題数 16題(同 2題)
学会長 石黒直隆 岐阜大学応用生物科学部教授

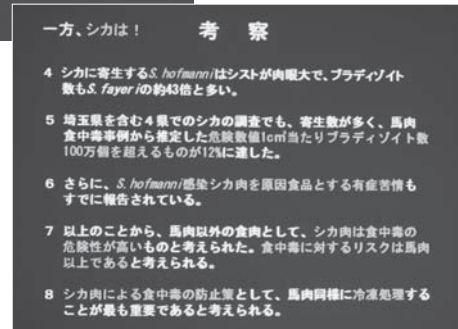
本県からは、昨年9月に山梨県昭和町で開催された関東・東京合同地区学会で公衆衛生部門の地区学会長賞を受賞した齊藤守弘先生(衛生支部)が「**シカ肉を含む食肉動物の Sarcocystis 感染による食中毒の可能性**」(発表抄録は会報611号P7)について発表しました。



獣医公衆衛生学会で発表する齊藤守弘先生（衛生支部）



食肉動物のSarcocystis感染について発表



2 日本獣医師会獣医学術賞の発表と授与

大会2日目の14日(土)午後1時15分からは、平成26年度日本獣医師会獣医学術賞の発表と賞状の授与が行われました。

授与式は日本獣医師会 古賀俊伸事務局長の司会により進行され、藏内勇夫会長の挨拶の後、獣医学術功績者選考委員会委員長の酒井健夫副会長から獣医学術賞の受賞者が発表されました。

獣医学術賞は、産業動物・小動物・公衆衛生の部門ごとに、地区学会長賞受賞講演の中から選ばれる獣医学術学会賞と「日本獣医師会学会学術誌」への投稿論文の中から選ばれる獣医学術奨励賞、並びに獣医学術の発展に功績のあった者に送られる獣医学術功労賞の3つです。本県からは、小野一晃先生(衛生支部)の「冷凍保存した食品検体からのコレラ菌検査法の検討」(日獣会誌,67,354-359)が公衆衛生部門で獣医学術奨励賞に選ばれました。

受賞者には賞状が授与されるとともに、協賛会社から副賞が贈られました。



授賞式で挨拶する藏内勇夫日本獣医師会会長



受賞者を発表する酒井健夫日本獣医師会副会長

なお、地区学会長賞受賞講演の中から選ばれた獣医学術学会賞の受賞者は次のとおりです。

- (1) 産業動物部門
「競走馬の細菌性角膜炎に対するファージセラピーの検討」 岩野英知(北海道)
- (2) 小動物部門
「猫のβ-ウレイドプロピオナーゼ欠損症：その臨床、分子基盤及び分子疫学」 清武典子(鹿児島県)
- (3) 公衆衛生部門
「ジビエにおける人獣共通寄生虫感染実態調査」 上津ひろな(岐阜県)

3 シンポジウム及び市民公開講座など

大会期間中、地区学会長賞受賞講演のほかにも多くの研究発表やシンポジウム、教育講演、市民公開講座が開催されました。

本会会員の先生方が関係した発表等を紹介します。

15日(日)9時から、日本獣医師会主催の市民公開シンポジウム「食の安全を守る獣医師－管理獣医師を知っていますか？」が開催され、北村直人農場管理獣医師協会会長の基調講演のあと、大橋邦啓先生(北支部)と三好志朗先生(北支部)が講演しました。

農場管理獣医師協会事務局次長の大橋邦啓先生は、肉牛生産農場での異常牛の早期発見のためには、従業員による観察と情報共有化が重要であり、管理獣医師は、使用者の意識改革や従業員教育に取り組む必要があることを強調しました。

また、三好志朗先生は「酪農にかかわる管理獣医師の役割」と題して、乳房炎コントロールのためのモニタリングの重要性について解説しました。

15日(日)午後から開催された日本獣医師会主催の教育講演「学術論文を執筆するにあたって」では、荒井理恵先生(農林支部)が公務員として勤務する傍ら学位を取得した体験を講演しました。

そのほか、「マイクロチップ装着の推進」や「女性獣医師の活躍できる環境づくり」などに焦点を当てたシンポジウムも開催されました。

特に、14日(土)の午前9時30分からは、近年、獣医師法に基づく行政処分を受ける事例が増加していることから、獣医師への社会的信頼の向上を目的として日本獣医師会主催による獣医師のコンプライアンスの徹底や職業倫理の高揚についての教育講演がありました。

また、「家庭犬の飼育頭数減少化を考える」と題した日本動物病院協会と日本小動物獣医学会の合同によるシンポジウムも開催されました。このシンポジウムでは、我が国の人口減少に伴いペットの飼育頭数も減少していくことが予想されているなか、動物病院やペット関連事業者への影響や人と動物の共生社会の再構築などについて6人の講師から発表がありました。



牛肉飼育における管理獣医師の役割について講演する大橋邦啓先生(北支部)



乳房炎コントロールについて講演する三好志朗先生(北支部)

4 歓迎交流会

歓迎交流会は、岡山県獣医師会が主催して14日(土)の午後6時からホテルグランヴィア岡山を会場にして開催されました。

交流会の主催である岡山県獣医師会を代表して三宅忠篤会長から「年次大会開催が決定して以降、準備に努めてきた。多くの皆様の参加の下で開催できたことに厚くお礼申し上げる。学会や本日の交流会を通じて交流を一層深めて頂きたい。」と挨拶がありました。

続いて、学会並びに年次大会の主催者を代表して藏内勇夫日本獣医師会会長が挨拶したあと、来賓の伊原木隆太岡山県知事からは「この年次大会が岡山県で開催されたことを嬉しく思う。1月には本県で高病原性鳥インフルエンザが発生したが、獣医師の皆様の支援により終息できたことに感謝する。今後の皆様の御活躍を祈念する。」との祝辞がありました。

さらに、大森雅夫岡山市長、逢沢一郎衆議院議員(自由民主党獣医師問題議員連盟幹事)、あべ俊子農林水



三宅忠篤岡山県獣医師会会長の歓迎挨拶



伊原木隆太岡山県知事の祝辞

産副大臣、笠井英夫日本医師会常任理事が祝辞を述べた後、石川紘岡山県医師会会長の乾杯により懇親に入りました。

歓迎交流会には、全国の獣医師会会員を始め、各学会の運営委員や行政機関など、関係の方々も含めて600名余が参加し、和やかな雰囲気の中で交流を深めておりました。



交流会にて

左から 齊藤守弘先生（衛生支部）、諸角元二先生（東支部）、藏内勇夫日本獣医師会会長、三宅忠篤岡山県獣医師会会長、高橋三男埼玉県獣医師会会長、小暮一雄副会長、大橋邦啓理事（北支部）

終演にあたり、次期開催担当の秋田県獣医師会の皆様が壇上に上がり、代表して砂原和文会長が平成27年度秋田大会への参加を心からお待ちしていると挨拶した後、午後8時に交流会はお開きとなりました。

なお、今後の年次大会の開催日程は、次のとおりです。引き続き会員の先生方の特段の御協力をお願いします。

平成27年度	開催地	秋田県(秋田キャッスルホテル、秋田アトリオン、にぎわい交流館 AU)
	期 日	平成28年 2 月26日(金)～28日(日)
平成28年度	開催地	石川県(石川県立音楽堂、金沢駅周辺会場)
	期 日	平成29年 2 月24日(金)～26日(日)

切り抜きニュース

県北部でPED ブタ6頭が陽性

県は23日、県北部の養豚場で家畜伝染病予防法に基づき、届出伝染病に指定されている「豚流行性下痢」(PED)の発症を確認したと発表した。県内での発症例は昨年3月以降4例目。県は同日、県内全養豚農家(125戸)に対しブタの健康調査を実施、ほかに異常がないことを確認した。

畜産安全課によると、同養豚場から22日、飼育しているブタの一部に下痢、おう吐の症状が出ていると県家畜保健衛生所(熊谷市)に連絡があった。6頭の糞便を遺伝子検査した結果、全てでPEDの陽性反応が出た。

同養豚場では約5500頭を飼育、そのうちの約1割が同様の症状という。県は養豚場に対し、豚舎への消毒などを指導するとともにブタの出荷・移動自粛を要請した。

PEDは殺処分などの防疫措置が必要な家畜伝染病には指定されておらず、人に感染することはない。

埼玉新聞 2月24日(日)

犬猫殺処分ゼロ議連発足 チップ装着、生体販売制限、 自治体の拒否拡大検討

犬猫の殺処分ゼロを目指そうと、超党派の国会議員による議連が12日に発足した。動物愛護法改正で殺処分の要件は厳しくなったものの、逆に悪質な業者による大量の遺棄が横行している。生体販売の見直しなど抜本的な改革が求められている。

(沢田千秋)

悪質業者の遺棄続出「命の商品化問題」

衆院第二議員会館で開かれた「犬猫の殺処分ゼロを目指す動物愛護議員連盟」設立総会には、自民、民主、維新、公明、共産、社民などの衆参国

會議員五十三人のほか、動物愛護に携わる人々ら百人以上が出席。愛護活動に取り組む女優の杉本彩さんと浅田美代子さんが「殺処分ゼロは当たり前。生体展示販売のゼロを」「悪質な繁殖業者の規制を」と訴えた。

議連は当面、マイクロチップ装着の義務化や生体販売の制限、自治体の引き取り拒否要件の拡大などについて検討する。事務局長の福島瑞穂参院議員は「さらなる法改正が必要か模索したい」と意気込む。

環境省などの調査によると、ペットショップなどで新規購入される犬猫は年間100万匹近く。国内の飼育数は2000万匹に及ぶ。都道府県が運営する保健所や動物愛護センターが2013年度に引き取った犬猫は17万6000匹。うち7割の12万8000匹が殺処分された。4分間に1匹の割合で殺処分されている計算だ。

国は13年9月、改正動物愛護法を施行した。飼い主やペット業者、ブリーダーが、犬や猫の命に最期まで責任を持つ「終生飼養」の原則に反する場合、都道府県は引き取りを拒否できるようになった。罰則も強化され、犬や猫などをみだりに殺傷すれば2年以下の懲役または200万円以下の罰金、遺棄すれば100万円以下の罰金を科す。ペット業者には犬や猫の個体ごとの帳簿作成や所有状



犬猫の殺処分ゼロを目指す議員連盟の設立総会で、対策の強化を訴える女優の杉本彩さん④と浅田美代子さん⑤ら＝12日、東京・永田町で

況の報告も義務づけた。

だが、法の厳格化は業者による犬猫の不法投棄の増加を招いた。昨秋、栃木県内の河川敷や山中で、トイプードルやミニチュアダックスフントなど人気が高い小型犬の死骸70匹以上が見つかった。逮捕された元ペットショップ店員は「処分に困って捨てた」と供述。埼玉県や佐賀県でも、チワワやマルチーズなど人気の純血種が置き去りにされるケースが続発。何度も出産した形跡がある犬が多く、繁殖業者が遺棄した可能性が高いという。

ペット関連法に詳しい林太郎弁護士は「法改正でペット業態の運営が難しくなった上、愛護センターでの引き取り拒否が増え、いいかげんな業者の不法行為が露呈している」とみる。

林弁護士が対策として提案するのが、ペット業者が使う飼養ケージの大きさの数値化だ。動物愛護法による現在の規定は「十分な大きさの確保」と曖昧で、行政指導の抜け穴となっている。「飼育ケージの幅、高さ、奥行きなどを厳格に定め、飼育できる業者を絞れば、劣悪なペット業者は市場から退場せざるを得ない。余って捨てられる犬猫の供給の蛇口を閉め、元を絶つしかない」

英国やドイツでは、民間の動物保護団体が動物保護施設を運営し、飼い主をあっせんしている。林弁護士は「金銭で売買する商品は用済みになれば廃棄されるのが常。動物の商品化がいかなる問題を生むのか、もっと考えなければならない」と警鐘を鳴らす。

東京新聞 2月13日(金)

博士とずっと一緒 駅へお迎え 飛びつくハチ 来月8日新銅像除幕

東京・渋谷の銅像で知られる忠犬ハチ公が死んで80年となる3月8日、東京大農学部キャンパス(東京都文京区)内に、新たなハチ公像が完成する。ハチ公が飼い主の故上野英三郎博士(1871～1925年)に飛び付く姿が銅像でよみがえる。同学部

教授で日本に農業土木学を創設した上野博士の没後九十年にもあたり、研究を受け継ぐ現役の東大教授らが銅像設置に動いた。(石井紀代美)

研究継承の東大内、寄付で制作

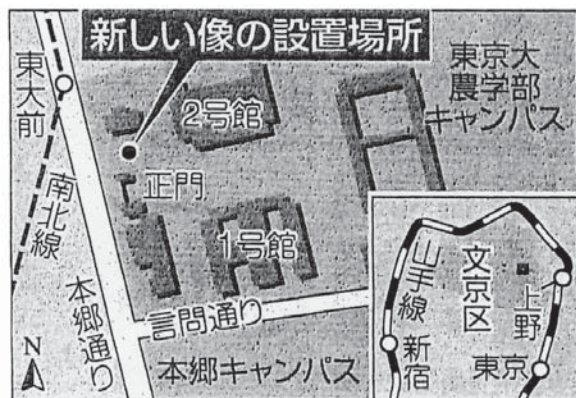
上野博士が授業のある日は大学へ、農地の現場へ向かう日は渋谷駅へと、ハチ公はいつも送り迎えをしていた。新しい銅像は高さ約1.9メートル、横幅は約1.8メートル。改札から出てきた博士に飛



④東大農学部キャンパスにできるハチ公と上野博士の新たな像(粘土製の原型)

ハチ公

1923年、秋田県大館市で生まれた秋田犬。24年1月、現在のJR渋谷駅近くにあった上野博士宅で飼われる。同年7月ごろから博士の送り迎えをし始め、朝、博士を見送った場所を覚えていて、夕方、決まった時間になると、そこに迎えに行くとされる。博士の死後も自分が死ぬまでの10年間、毎日渋谷駅に通い続けた。これが新聞で報じられ、34年に同駅前に銅像ができた。戦争で物資に使われ、現在の像は48年に再建。今も待ち合わせ場所として広く親しまれている。上野博士の故郷の津市にも、ハチ公のそばに博士が立つ像がある。



びつくうれしそうなハチ公と、優しい笑みで両手を差し出す博士の姿を切り取っている。

上野博士は、農業の生産性を高める灌漑(かんがい)・排水の技術や農地整備などを、農業土木学という独立した学問に体系付け、日本の近代農業の基盤を作り上げた。

「ハチ公は世界的に有名だが、飼い主のことがほとんど知られていない。銅像制作のきっかけは2011年末、犬が大好きな哲学専攻の東大教授による発案だった。翌年1月、農学部系の教授らがこれに応え、「ハチ公と上野英三郎博士の像を東大に作る会」が発足。制作費に充てるため寄付を募り、約2年で目標額の1000万円を集めた。

制作は、動物を描くことに定評がある名古屋市

瑞穂区在住の彫刻家、植田努さん(40)に依頼。植田さんは「教授の威厳を持たせながら、うれしそうにハチをみつめる博士の表情を作るのが難しかった」という。

「作る会」の事務局長、塩沢昌・東大院農学生命科学研究科教授は「飼い主を慕う犬の純粋さ、それを受け止める人間の素直な気持ち、その愛情を表現した。見る人に、愛情にあふれたエピソードを思い起こさせる像になれば」と話す。

銅像は人通りの多い農学部キャンパスの正門そばに設置し、3月8日午後1時から除幕式が行われる。

東京新聞 2月7日(土)

広告

大切な愛犬、
飼い主の皆様、
社会のために



動物用医薬品 劇要指示

〈狂犬病組織培養不活化ワクチン〉

狂犬病TCワクチン“化血研”



製造販売



一般財団法人
化血研 化学及血清療法研究所
熊本市北区大窪一丁目6番1号 〒860-8568

本所 ☎(096) 345-6505 (営業直通)

東京営業所 ☎(03) 3443-0177

平成26年度埼玉県獣医師会学術広報版

(平成27年 2月20日現在)

年 月 日	産 業 動 物	小 動 物	公 衆 衛 生
6月14日(土) ～15日(日)	第88回獣医麻酔外科学会／第100回日本獣医循環器学会／第55回日本獣医画像診断学会 2014春季合同学会 (さいたま市 大宮ソニックシティ)		
6月22日(日)		南第一支部・南第二支部 「獣医病理学をもっと身近に感じるために ～専門医の立場から～」 どうぶつの総合病院病理科 近藤広孝 先生 (さいたま市 埼玉会館)	
8月24日(日)		さいたま市支部 「僧帽弁閉鎖不全症の外科適応と内科適応 ～循環器内科医の立場から～」 東京動物心臓病センター日本獣医循環器 学会認定医 岩永孝治 先生 (さいたま市 大宮法科大学院大学)	
8月24日(日)		東支部 「犬と猫の消化管疾患診断アプローチと 治療のコツ2014」 日本小動物医療センター消化器科 中島亘 先生 (久喜市 久喜総合文化会館)	
9月7日(日)	平成26年度 関東・東京合同地区獣医師大会(山梨) 獣医学術関東・東京合同地区学会 (山梨県中巨摩郡昭和町 アビオ)		
9月21日(日)		東支部 「犬種別眼科疾患：柴犬・シーズー」 どうぶつ眼科Eye Vet 小林一郎 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
10月17日(金)	北支部・八日会、しゃくなげ会 埼玉県支部 「子牛の免疫について」 酪農学園大学 大塚浩通 先生 (熊谷市 熊谷家畜保健衛生所)		
10月19日(日)		西支部 「内分泌を極める 副腎」 東京大学 松木直章 先生 (川越市 川越南文化会館)	
10月26日(日)		北支部・八日会 「違いのわかる獣医師になろう!! 前肢の歩行異常を見きわめる」 日本大学生物資源科学部獣医学科 枝村一弥 先生 (本庄市 児玉文化会館セルディ)	
10月26日(日)		東支部 「膝蓋骨脱臼治療の合併症 橈骨・尺骨の骨折治療の合併症」 コーネル大学(米国獣医外科専門医) 林慶 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
12月7日(日)		南第一支部・南第二支部 「動画から学ぶ! 犬および猫の上部呼吸器疾患について」 日本獣医生命科学大学 藤田道郎 先生 (さいたま市 埼玉会館)	
12月14日(日)		北支部・八日会 「違いのわかる獣医師になろう!! 後肢の歩行異常を見きわめる」 日本大学生物資源科学部獣医学科 枝村一弥 先生 (本庄市 本庄商工会議所)	
12月21日(日)		西支部 「内分泌を極める 甲状腺」 東京大学 松木直章 先生 (川越市 川越南文化会館)	
12月25日(木)	農林支部 平成26年度埼玉県家畜保健 衛生業績発表会 (さいたま市 埼玉会館)		
平成27年 2月1日(日)		さいたま市支部 「犬・猫の眼瞼・眼球腫瘍の病理 ／猫のパピローマウイルス関連皮膚腫瘍」 どうぶつの総合病院病理科 近藤広孝 先生 (さいたま市 With You さいたま)	
2月13日(金) ～15日(日)	平成26年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会(岡山) (岡山市 岡山コンベンションセンターほか)		
2月	農林支部 関東甲信越家保業績発表会(13日(金)) (長野市 JA長野県ビル アクティールホール)		衛生支部 健康福祉研究発表会 食肉衛生技術研修会
3月8日(日)		西支部 「バランス麻酔と周術期管理」 小動物麻酔鎮痛サポート 長濱正太郎 先生 (川越市 川越南文化会館)	

事務局より

事務局メモ

ホームページ会員専用ページ 入室は URL <http://www.saitama-vmc.org/>

ID: SVMA (半角・大文字) パスワード: MITSUO (半角・大文字)

- | | | | |
|-----------|--|-------|---|
| 1月22日 | 平成26年度管理獣医師の実践的な技術・知識を習得するための講習会(千葉県千葉市 ホテルプラザ菜の花) | 2月25日 | 平成27年度集合狂犬病予防注射関係資材売買契約会(さいたま市 埼玉県農業共済会館) |
| 1月25日 | 南第一支部新年会(さいたま市 浦和ロイヤルパインズホテル) | 2月26日 | 第1回開業部会運営委員会合同会議(さいたま市 埼玉県農業共済会館) |
| 1月25日 | 東支部新年会(越谷市 越谷サンシティ) | 3月1日 | 平成26年度管理獣医師等育成支援事業「高度獣医療講習会」(神奈川県伊勢原市 FORUM246) |
| 1月26日 | 日本獣医内科学アカデミー関係学術懇談会(さいたま市 大宮ラフォーレ清水園) | 3月1日 | 第45回日本比較臨床医学会(東京都府中市 東京農工大学) |
| 1月29日 | 学校法人シモゾノ学園第6回教育課程編成委員会(さいたま市 大宮国際動物専門学校) | 3月8日 | 西支部学術講習会(川越市 川越南文化会館) |
| 2月1日 | さいたま市支部学術講習会(さいたま市 With Youさいたま) | 3月10日 | 埼玉県配合飼料商協会40周年記念行事(さいたま市 さいたま新都心合同庁舎 ほか) |
| 2月1日 | さいたま市支部新年会(さいたま市 プリランテ武蔵野) | 3月10日 | 日本獣医師会第18回総務委員会(東京都港区 日本獣医師会) |
| 2月6日 | 損害評価会家畜共済部会(さいたま市 埼玉県農業共済会館) | 3月12日 | 第4回狂犬病予防委員会・第2回班長会議(さいたま市 埼玉県農業共済会館) |
| 2月8日 | 埼玉県獣医師会ボウリング大会(さいたま市 スポーツ浦和国際ボウル) | 3月18日 | 第4回総務委員会(さいたま市 埼玉県農業共済会館) |
| 2月10日 | 公益法人・移行法人の定期提出書類及び法人運営に関する説明会(さいたま市 埼玉会館) | 3月19日 | 第2回畜産懇話会(熊谷市 ホテルヘリテージ) |
| 2月13日～15日 | 平成26年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会(岡山)(岡山県岡山市 岡山コンベンションセンターほか) | 3月19日 | 第4回畜産会役員会(熊谷市 ホテルヘリテージ) |
| 2月18日 | 平成26年度埼玉県狂犬病予防協会研修会(桶川市 さいたま文学館) | 3月20日 | 平成27年度日本獣医師会第5回理事会(東京都港区 日本獣医師会) |
| 2月18日 | 平成26年度集合狂犬病予防注射実施者講習会(補講)(桶川市 さいたま文学館) | 3月20日 | 平成26年度学校法人シモゾノ学園大宮国際動物専門学校卒業式(さいたま市 パレスホテル大宮) |
| 2月19日 | 平成26年度第3回関東・東京合同地区獣医師会理事会(山梨県笛吹市 ホテルやまなみ) | 3月26日 | (予定)第5回理事会(さいたま市 埼玉県農業共済会館) |
| 2月20日～22日 | 第11回日本獣医内科学アカデミー学術大会(神奈川県横浜市 パシフィコ横浜) | 4月5日 | 平成27年度第1回関東・東京合同地区獣医師会理事会(神奈川県横浜市 パシフィコ横浜) |
| | | 6月11日 | (予定)埼玉県獣医師会第67回定時総会(さいたま市 大宮ラフォーレ清水園) |

編集後記

県内各地で梅の花も開花し、暦の上では立春、雨水も過ぎ、日も少しずつ伸びて春がすぐそこに来ているようです。渡り鳥の北帰行が始まり、鳥インフルエンザの脅威も減少することが期待されます。一方、豚流行性下痢(PED)は、冬季においてその発生が減少傾向であったものが、春の訪れとともに再び流行の兆しを見せています。本誌既報の通り県西部と境界を接する青梅市においてブランド豚の東京 X の飼育場における発生がありました。特に専門的な獣医師が常駐している飼育場での発生であり、近隣農家はその防疫対策に困惑しています。PEDにより肉豚の生産が減少し、豚価は高値に安定しています。デパートなどの豚肉価格は、交雑牛の肉牛価格に匹敵する勢いです。畜産物の安定供給は我々獣医師にとって重要な任務の一つです。食料は空気と一緒に、あって当たり前の世の中になりました。これも先輩諸氏の努力の賜物ですが、国民が畜産物の安定供給に対する感謝が薄れるとともに、我々獣医師も畜産に対する関心が薄れてきました。バターが不足して初めて、酪農の低迷、乳牛飼育頭数の減少を肌で感じたり、豚肉価格の上昇で国際的な肉豚の減少を認識します。畜産の衰退が一人獣医師だけに責任があるわけではありませんが、考えなければならない問題がたくさんあります。例えば、乳価決定における乳脂質3.5%があります。四季があり、南北3千キロの日本列島において年間を通しての乳脂質を3.5%にしたことにより、濃厚飼料の多給により肝障害などの疾病が増加し、酪農家の経済的負担を増し、長期的には離農を促す結果となりました。このようなことに対し、獣医師は無力でした。乳業メーカーの利益追求に加担したと見られても反論できないでしょう。

埼玉県における酪農は、敗戦後の食糧難の解決策として発展してきました。太平洋戦争中、陸軍の獣医師であった諸先輩は、敗戦後公職追放を受けた中で、食糧難を克服するという国策のために、畜産振興に努めました。埼玉県においては、鶴ヶ島伝習農場(現埼玉県農業大学校)を設立し、デンマークにおける酪農が陸軍獣医

師によって振興したことを範として、馬の臨床から牛の臨床へと大転換し酪農振興を地域の青年に教育しました。獣医師である旧陸軍獣医師は、北海道に渡り乳牛を買い付け、牛とともに貨車で帰郷したとも聞きました。そうした努力も、東西対立におけるアメリカの同盟国としての富国強兵政策により工業化への道筋をたどり、畜産をはじめとする農業の衰退に歯止めがなくなりました。懐旧の念から畜産の衰退を憂うのではなく、国家の独立は食料の確保にあるとの歴史的教訓からの危惧です。

牛や豚や鶏が生き生きとその生涯を全うするとき、畜産物という恵みを我々に与えてくれるのではないのでしょうか。獣医師は、その本分として牛や豚や鶏がその命を輝かすことができるように、獣医学に命を吹き込まなければなりません。

26年度の年次大会も盛会に開会されました。日本獣医師会が力を入れた人畜共通感染症(医学では動物由来感染症と呼ぶ)に関する実践的な研究発表が、注目されました。特に、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)に関しては、国内初発生例を診察した山口県立総合医療センターの高橋医師が、山口大学共同獣医学部との連携により病原体を確定しその後の診断法確立への道筋をつけた経緯などの詳細が明らかとなりました。獣医師会と医師会の連携が、国民の公衆衛生確保に欠かすことのできないことの教訓を示しました。SFTSはその後の疫学調査から、和歌山県へ侵入していることが明らかとなり、今後も中部・東海・関東への浸潤も予測されています。隣接各県衛生研究所では、野生動物の検体から SFTS の病原ウィルスの検出をモニターしています。地球温暖化やヒトと動物の移動の速度が増している今日、埼玉の地においても、発生の危険は身近なことから認識する必要があります。特に衛生部局の専門職においては県民の公衆衛生確保の観点から、地道な努力が求められそうです。

春爛漫、世間はのんびりとしていますが、県民のため関係部局に奉職される会員諸先生方のご活躍を祈念申し上げます。

(初雁)

動物病院ご経営の皆様



クレジットカード払いのご導入について

高度医療・緊急診療…クレジットカード払いの導入をお勧めします！

近年、動物病院様におかれましては、お客様から『クレジットカードで支払いたい』という要望が確実に高まっております。

この機会に経費精算の効率化・簡素化、並びにお客様の利便性向上の観点から、ぜひクレジットカード払いの導入をお勧めします。

埼玉県獣医師会の会員様限定…

- ・加盟店手数料を優遇します！
- ・導入費用は一切かかりません！
- ・加盟料無料&カードリーダー無償です！



詳しい条件は下記連絡先へ

法人カードのご導入について

出張費、接待費、ネット決済…法人カードのご導入をお勧めします！

公共料金やネット決済等クレジットカードの利用シーンはますます拡大しております。出張・接待費等の立替払いの削減、備品購入・継続決済等に係る経理事務の合理化などに役立つ『法人カード』のご導入をお勧めします。

リそな法人カードを使うと…

- ・ポイントが貯まります！
- ・旅行傷害保険がついて出張も安心！
- ・経理事務が楽になります！



各商品の詳細はWEBで

お申込み・お問い合わせについて

弊社より「お申込資料」をお送りしますので、ご郵送でお申込み下さい。

※本ご案内はカード加盟店に未加盟の会員様が対象となっておりますので、

既に加盟店契約をされている場合は、弊社と契約出来ない場合もございます。

※法人カードのお申込みに際し、カード発行審査がございます。

リそなカード株式会社 首都圏営業第二部

電話 **03-5665-0650** (平日9時～17時 土日祝除く)

※お電話の際は必ず「埼玉県獣医師会の会員」様である旨を伝えて下さい。

弊社ホームページ <http://www.resonacard.co.jp/>

[リそなカードで検索]

NEW

自然の免疫力の維持をサポートする
犬・猫用サプリメント

犬・猫用栄養補助食品

アラミン®トリプル

3つの主成分

大麦β-グルカン 発酵β-グルカン 乳酸菌

アラミン®トリプルは、
犬や猫がもつ自然の免疫力の維持をサポートすることで
QOL (生活の質) の安定に寄与します。



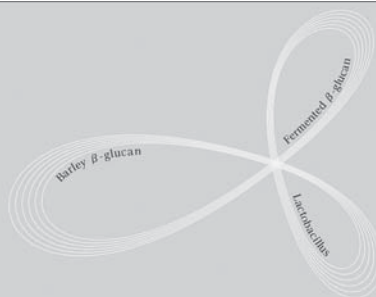
5mL×15包



5mL×30包



5mL/包



「使いやすい」3つの理由

① 与えやすい

- ワンちゃん・ネコちゃんが好むクセのないヨーグルト味
- フードにかけても元の味を損なわない

② 提供しやすい

- 衛生的なサシェット (小袋) タイプ
- 個包装なので、日単位でペットオーナー様に提供できる

③ 勧めやすい

- ペットオーナー様に提案しやすい価格帯

TEL 0120-317955
FAX 0120-317965

受付時間：月～金 9:00～12:00、13:00～17:00
※土日祝日は除く、FAXのみ24時間受付可能です。
お問い合わせは上記ゾエティス・ジャパンお客様窓口まで

ゾエティス・ジャパン株式会社
〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-22-7

zoetis®

松研の動物用生物学的製剤



こわい狂犬病から
ぼくをまもってね

■ 松研狂犬病 TC ワクチン

動物用医薬品

要指示医薬品

豚用ワクチン

- 松研豚丹毒生ワクチン
- ポーシリス APP-N
- ポーシリス ERY
- ポーシリス APP+ERY
- ポーシリス STREPSUIS
- ポーシリス Begonia DF・10
- ポーシリス Begonia DF・50

水産用ワクチン

- M/バック レンサ 注
- M/バックイニエ
- 松研M/バック IPレンサ

家畜用ワクチン

- 破傷風血清

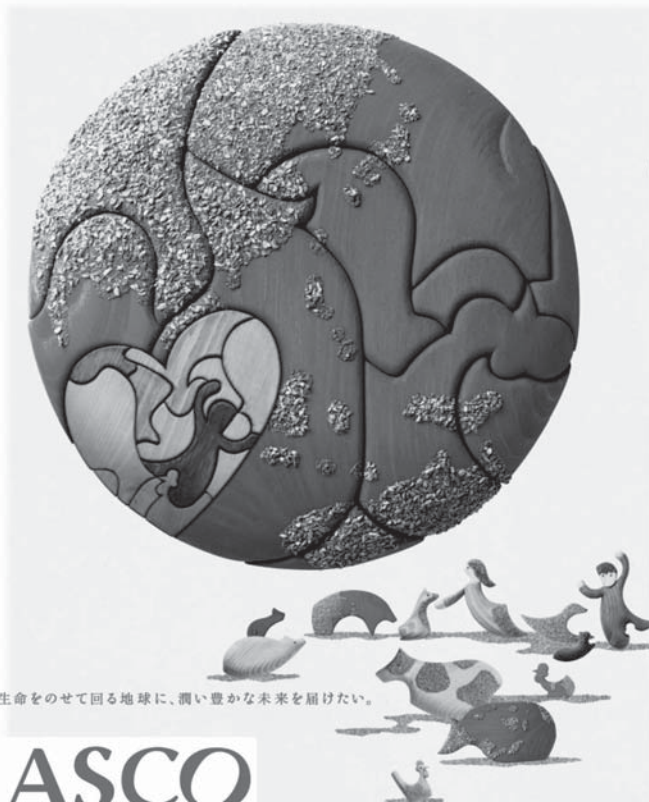
※豚用ワクチンは要指示医薬品です。

研究開発元 一般財団法人 松岡科学研究所

製造販売元 松研薬品工業株式会社



〒184-0003 東京都小金井市緑町5丁目19番21号
TEL: (042) 381-0075 FAX: (042) 381-0344
URL: <http://www.32.ocn.ne.jp/~matsuken>
E-mail: matsuken@cf.mbn.or.jp



株式会社 **アスコ**
http://www.asco.sala.jp

国内広域展開の動物用医薬品ディーラー
人と動物の健やかな共生環境づくりに貢献します

本 社

〒441-8021
愛知県豊橋市白河町100番地

TEL 0532-34-3821
FAX 0532-33-3611

**営業所
所在地**

- ・東北支店
宮城、福島
- ・東日本支店
児玉、前橋、松本、旭、茨城、栃木
東京、大宮
- ・中日本支店
豊橋、安城、浜松、沼津、岐阜、名古屋
- ・西日本支店
広島、福山、山口、米子、岡山
大阪、京都

動物病院・ペットショップなどのペット環境および施設の衛生管理に — ペットクリーンナビ

PET CLEAN NAVI

Ⓜ MORIKUBO



消臭・除菌
ウイルス除去

二酸化塩素水

安心のペット環境づくりに。
同梱のタブレットを溶解してご使用ください。

電解アルカリイオン水

洗浄・除菌

ペットと環境に優しいのに驚きの洗浄力！
二度拭きいらずの洗浄・除菌水。



スプレー各1本入り
お得なセット



【容 量】 各 100 mL

Ⓜ **森久保薬品株式会社** 神奈川県厚木市栄町 1-8-17
TEL: 046-222-2333(代)

東京: 042-564-2381 埼玉: 04-2968-0881 三郷: 048-948-2112 神奈川: 046-221-0620 ツクバ: 0296-43-1661
山梨: 055-224-5278 群馬: 027-230-3322 栃木: 028-666-3399 茨城: 029-241-3131 成田: 0476-40-5811 茂原: 0475-24-1613

ACTY



ミルクが出ない



太りすぎ



卵が少ない

そんな悩みを

わかっていてくれる。



治りが遅い



高齢化



食欲がない

アクティは大切な動物の健康をサポートします。

私共、アクティ動薬事業部は、動物病院ならびに

牛、豚、鶏などの産業動物を対象とした

動物用医薬品、特別療法食、医療機器等の販売をしています。

20世紀は抗生物質の時代、

21世紀は生菌製剤の時代といわれるように、

健康に関する考え方も大きく変化してきています。

私たちは、獣医療を支えている関係者、畜産農家、

ペットオーナーの皆様方と共に、健康で、豊かで、安心な

生活を営んでいけるように、力を注いでまいります。

本社・長野県営業部

〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村8228

TEL:0263-87-7247 FAX:0263-87-7247

北関東営業所

〒370-1135 群馬県佐波郡玉村町板井870

TEL:0270-65-0552 FAX:0270-65-0553

さいたま営業所

〒338-0004 埼玉県さいたま市中央区本町西5-3-24

TEL:048-611-6111 FAX:048-611-6116

千葉営業所

〒260-0851 千葉県千葉市中央区矢作町243

TEL:043-308-0221 FAX:043-308-0223

茨城営業所

〒311-4152 茨城県水戸市河和田1丁目1642-1

TEL:029-306-8271 FAX:029-251-3880

山梨営業所

〒409-3863 山梨県中巨摩郡昭和町河東中島1599-4

TEL:055-275-5573 FAX:055-275-5564

アクティ株式会社

<http://www.acty-kk.com>